

Ⅲ 一～五類全数把握感染症

一～五類全数把握感染症

1. 一類感染症

全国、大阪府とも発生はなかった。

2. 二類感染症

結核以外の二類感染症は、全国、大阪府とも発生はなかった。

なお、結核については、下記ホームページを参照されたい。

(財) 結核予防会結核研究所 疫学情報センター <http://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/>

(文責：谷本)

3. 三類感染症

●コレラ

平成 27 年のコレラの発生はなく、平成 26 年も同様であった。

●細菌性赤痢

平成 27 年の細菌性赤痢の届出数は 2 例であり、平成 26 年の 9 例に比べ減少した。

菌種別では 2 例とも *S.sonnei* (D 群) であった。推定感染地域は、いずれも国外 (イスラエル、モルディブもしくはアラブ首長国連邦) であった。

●腸チフス

平成 27 年の腸チフスの届出数は 3 例であり、平成 26 年の 4 例より、1 例減少した。

推定感染地域はインド (2 例)、パキスタン (1 例) であった。

●パラチフス

平成 27 年のパラチフスの発生はなく、平成 26 年の 1 例より減少している。

コレラ

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

細菌性赤痢

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市		1																									
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
合計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

腸チフス

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																		1									1
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

バラチフス

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

腸管出血性大腸菌感染症

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府		1				1	1	1				2			1		1			1	5	2	3	8	100	59	
大阪市														1		1				1	1		1			1	
堺市		1	1		1	2	5	12	11	2	3		1										1	1	1		
高槻市										1																1	
東大阪市																										4	
豊中市																											
合計	0	2	1	0	1	3	6	13	11	3	3	0	3	1	0	1	1	1	0	0	2	6	3	5	9	105	60

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
																										1
						1																				1
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
															1											1
																										2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
12	5		3	8	1		5	4	7	1	1	3	3	2	1	5	1					3			251	
2	1	2	1	8	3	2	2	1	1	1		2	1		1	1	3	2				1		1	2	44
1	1	1					1	2	1	2	1		1		1	1								1		56
		1				2		1	1				1													9
	1	1																						2		8
				1								1	1							1						4
15	8	5	4	17	6	2	9	8	9	4	3	6	7	2	3	7	4	2	1	0	0	4	0	4	2	372

●腸管出血性大腸菌感染症

平成27年の腸管出血性大腸菌感染症の届出数は372例であり、平成26年の届出数202例に比べて170例増加している。

血清型別ではO157が174例(46.8%)、O26が177例(47.6%)、O111が4例(1.1%)、O121が1例(0.3%)、その他が5例(1.3%)、不明が11例(3.0%)であった。そのうちHUS発症例は5例(1.3%)であった。

また、症状別では有症状者が227例(61.0%)、無症状病原体保有者(以下、無症状者)が145例(39.0%)であった。

血清型別有症・無症状者数はO157では有症状者が118例(31.7%)、無症状者が56例(15.1%)、O26では有症状者が98例(26.3%)、無症状者が79例(21.2%)、O121は有症状者が1例(0.3%)、O111は有症状者が4例(1.1%)、血清型不明では、有症状者が4例(1.1%)、無症状者が7例(1.9%)であった。その他の有症状者が2例(0.5%)、無症状者が3例(0.8%)であった。

性別では、男性169例(45.4%)、女性203例(54.6%)であった。

症状別・性別菌検出者数は有症状者(227例)では男性114例(50.2%)、女性113例(49.8%)、無症状者(145例)では男性55例(37.9%)、女性90例(62.1%)であった。

月別患者・保菌者届出数をみると、届出がない月はなく、多い順に、6月の182例、8月の42例、次いで2月の33例、7月の32例であった。平成27年においては、2月に堺市における集団発生事例(O157)32例、6月に寝屋川市における集団発生事例(O26)157例が含まれている。

都道府県別でみると、届出数の多い順に大阪府、東京都、神奈川県となっている。

(大阪市)

